

「 ぼくのかあさん 」

かあさんは ぼくと ずっといっしょ

ぼくが <sup>う</sup>生まれた ときからね

かあさんは ぼくと <sup>くるま</sup>車で あそぶのが すき

ぼくも かあさんが かたづけてくれるなら すき

<sup>くるま</sup>車たちは おもちゃ<sup>ばこ</sup>箱に きちんと ならべないとね

「ブルルン ブルルン」

かあさんは いつも きれい

おめかしをすると もっときれい

それを見<sup>み</sup>ると ぼくも まねをしたくなる

これは していいこと

ときには かあさんの<sup>ふく</sup>服を かわいくしたくなる

でも これは しちやいけないみたい

かあさんは いつも ぼくと いっしょに お買<sup>か</sup>いもの

「お米<sup>こめ</sup>、やさい、くだもの、、、 なにか わすれてないかしら」

ぼくは 買<sup>か</sup>ったものを はこぶのが とくいさ

かたづけるのは もっと とくいだよ

ポテトチップスなんて すぐに なくなっちゃう！

かあさんは おひさまが でていると ぼくと ブランコ  
どっちが たかくまで いけるかな？  
かあさんは ぼくの たすげがないと かてっこない

「もっとたかく！」

ぼくは <sup>やま</sup>山のぼりも だいすき

よいしょ よいしょ <sup>そら</sup>お空のくもよりたかく  
てっぺんでは かあさんの キスが まっている

ぼくが いつも リーダーだ  
「どしん どしん！」  
「かあさん こっち、 かあさん あっち！」

ぼくは かくれんぼも とくい  
かあさんだって ぼくを みつけられない  
「ばあ！」っていきなり さけぶとね

かあさんは こしをぬかして おどろくから ぼくは <sup>わら</sup>笑いがとまらないのさ

ぼくは <sup>みず</sup>水やりも すき

でも ふしぎだな

<sup>みず</sup>水やりを していると いつも <sup>あめ</sup>雨が ふってくる

かあさんは とっても やさしい

でも おこるときは とっても こわい  
どうして おこっているか おしえてくれるけど  
それには とても <sup>じかん</sup>時間が かかるんだ

ぼくは <sup>そら</sup>お空を とびたい

かあさんは なんでもやればできるって <sup>い</sup>言う

ほんとうなんだ！ ほら <sup>み</sup>見て、<sup>じょうず</sup>上手でしょう？

かあさんは なぜか ぼくのことはなして くれないうけどね

かあさんは おやすみの<sup>じかん</sup>時間に になると

ぼくの ズボンの おほしさまを ふりおとして <sup>そら</sup>お空に かざるんだ

ぼくは かあさんを ぎゅーってして <sup>い</sup>いう

「おほしさま おやすみなさい。また<sup>あした</sup>明日ね」